

フオーティーズ便り

発行:横濱フオーティーズ野球倶楽部
報道部編集

http://www.office-thank.com/~forties/

特集

第26回全日本生涯野球大会 平成26年5月31日~6月1日 戸倉市



ポーズがばらばらですが・・・



おっしゃー！ いくどー！



監督ご苦労様です

●おとうさんの甲子園～勝っても負けても明るく元気で2日間で3試合

5月31日～6月1日にかけて安藤監督率いる総勢13名の野球球団に同行。当日の試合がある為早朝6時には横浜駅を出发、今年もまたシティアクセスの唐澤運転手、よろしくお願ひします。二俣川組はもう始めているが、横浜組を交えて改めて乾杯。これが生涯野球の開始の合図。ほろ酔い気分で野球談義に盛り上がり、途中関越三芳SAで伊藤慎運営委員長と福島さんが合流。福島さんは千葉からマイカーを飛ばしての参加ご苦労様です。車内はより一層騒がしくなりますが、この頃には選手は皆ソフトドリンクに切り替え戦闘モードに入ります。今年は第一試合の為、寄り道せずグラウンドに直行しました。毎年恒例のお土産屋は試合のあとにしました。暑くもなく寒くもなく野球日和の信濃千曲川から吹き寄せる風はとても気持ち良い、なんて言ってる暇はなく、お父さん方はやる気満々、私はバッピや審判を、帯同組の斉藤敏さんは相手チームの研究を勤めさせていただきました。昨年は上位の壁に阻まれましたが、今年のはびのびやりましょう。試合終了後疲れた体に鞭打ってお土産屋→開会式のはずが…。後審判でグラウンドに残り、先に宿に引き上げてまったりしていると、何故か皆様の帰りが早い。手には紙袋らしきものを持っている。これ以上は私の口からは言えません。風呂に入って夜の宴会をしつつ今日の反省と明日優勝を誓います。(浜翔:石川伸)

A3リーグ

【1日目】5月31日 土曜日

第1試合 12:14～ 戸倉体育館グラウンドA

岡谷ユニバーサルA(埼玉) × 横濱フオーティーズ*野球倶楽部

【2日目】6月1日 日曜日

第2試合 10:05～ 戸倉体育館グラウンドA

横濱フオーティーズ*野球倶楽部 × 掛川ファイターズ*(静岡)

第3試合 11:45～ 戸倉体育館グラウンドA

横濱フオーティーズ*野球倶楽部 × 白山還暦野球クラブ*(石川)

●遠征参加メンバー●

監督	安藤 修一	伊藤 重美
	窪田 好幸	久保田 壮
	川崎 義人	岡崎 四郎
	大西 直良	佐藤 隆
	四方田 信和	太刀岡 正
	弘中 敏道	丸山 正蔵
報道	福島 武男	
運営	斉藤 敏美	記録 石川 伸哉
	伊藤 慎悟	以上16名



開会式会場前での集合写真。
何はともあれ2年ぶりの勝利で盛り上がってます。

今年の生涯野球は挨拶代りの伊藤重の左越え二塁打で幕開け。1死後大西の中前痛烈打で幸先良く先制する。初参加の先発川崎は、未知の世界に苦戦。四球・安打から連打を浴び、さらに3連続四球に失策が絡んで5点を奪われてしまう。2回表先頭太刀岡の安打と相手守備の乱れでまず1点、久保田・丸山が粘って四球で繋いで打順はトップへ。なんとそこから、伊藤重・四方田・大西・川崎・安藤の五連続長短打で9点を挙げお祭りモード。終回福島島の適時打で4点差とし、マウンドを佐藤に託す。粘る相手打線に捕まり、同点とされ尚サヨナラ負けの大ピンチを迎えるが、チーム全員が踏ん張り、規定により、スコアボードに0が入る事なく引き分け、9人によるジャンケンになった。しかしなんと五者連続勝利で見事な完封勝ちを収め歓喜の中に驚きの表情が混じっていた。最後は両軍力を出し切った表情で一礼して握手。ともあれ、二年ぶりの勝利おめでとうございます。今夜は盛り上がるぞ!!(浜翔:石川伸)

第1試合【1回戦】

5/31(土) 12:14 戸倉体育館グラウンドA

激しい点の取り合い
ジャンケン決着で劇的な勝利

	(2)	(6)	(1)					計	安打
横濱フオーティーズ	1	9	1					11	(9)
岡谷ユニバーサルA	5	2	4					11	(8)
	(埼玉)	(3)	(1)	(4)					

二塁打: 伊藤重②・安藤・福島(横濱)
林・桜井・高市・北村・宮沢(岡谷)



<敢闘賞>
先頭打席での二塁打を含む2本の二塁打で2打点。

伊藤重

岡谷					横濱						
守	氏名	打数	安打	打点	盗塁	守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
	8 金子	1					6 伊藤	3	2	2	
	6 林敬	2	1				7 四方田	2	1	2	
	4 小口	2					4 大西	2	2	1	
	7 桜井	1	1	2			1 川崎	2	1	1	
	9 吉原	2	2		1		3 安藤	1	1	2	
	5 古沢恒	1		1			8 佐藤	1			
	3 北沢	1	1	2			5 太刀岡	2	1		
	2 古沢良	1	1				2 岡崎	1			
	1 北村	2	1	1			9 弘中	2		1	
	D 林(充)	1		1			D 窪田	2		1	
	D 城下	1		1			D 福島	2	1	1	
	D 岡沢	1					D 久保田	0			
	D 宮沢	1	1	2			D 丸山	0		1	
	チーム計	17	8	9	2		チーム計	20	9	11	1

※守備位置はスタート時

投手					投手						
氏名	回数	安打	四球	三振	失点	氏名	回数	安打	四球	三振	失点
北村	2	8	4		10	川崎	2	4	6		7
桜井	1	1	3		1	佐藤	1	4	1		4
チーム計	3	9	7	0	11	チーム計	3	8	7	0	11

第2試合【2回戦】

6/1(日) 10:05 戸倉体育館グランドA

走塁ミスが流れを変える
掛川の猛打爆発15点をあげる

	(3)	(0)	(2)	(2)				計	安打
横濱フォアテース	1	0	0	1				2	(7)
掛川ファイターズ	0	5	10	X				15	(12)
	(埼玉)	(0)	(4)	(8)					

勝 結城

敗 川崎

三塁打: 増田(掛川)・四方田(横濱)
二塁打: 遠藤・鈴木・中嶋・大川原(掛川)
伊藤重・大西(横濱)



あ〜あ、何やってんだか

掛川	打数	安打	打点	盗塁
守 氏名				
6 遠藤	2	1	1	
7 森沢	2	1	1	
4 結城	2			
1 水谷	2	2		
3 鈴木	1	1	1	
8 中嶋	2	2	1	1
5 青嶋	1	1	2	
2 大川原	2	1	2	
9 野々山	0			
D 山沢	0		1	1
D 稲垣	2	1	2	
D 増田	2	1	2	
D 三橋	1	1	1	1
チーム計	19	12	13	3

横濱	打数	安打	打点	盗塁
守 氏名				
6 伊藤	2	1		
9 四方田	2	2		
D 大西	2	1	1	
1 川崎	2			
3 安藤	2	1	1	
7 佐藤	2			
5 太刀岡	0			
2 岡崎	1			
8 弘中	1			
4 窪田	1			
D 福島	1			
D 久保田	1	1		
D 丸山	1	1		
チーム計	18	7	2	0

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点
投手 氏名					
結城	3	5	1	1	1
中嶋	1	2			1
チーム計	4	7	0	1	2

投手	回数	安打	四球	三振	失点
投手 氏名					
川崎	2	4		2	5
久保田	1	8	2		10
チーム計	3	12	2	2	15

一夜明けての対戦は静岡の強豪掛川ファイターズだ。先攻横濱は昨日同様、伊藤重の左越二塁打が挨拶代わり。四方田が安打で繋いで好調大西を迎えた所で一走盗塁も強肩捕手に余裕で刺される。しかし大西の先制二塁打が出て先手を取る。川崎立ち上がり、先頭三振に取り三者凡退と上々。横濱は2回、失策の走者を置いて、太刀岡の犠打が相手失策を誘い一・二塁、続く岡崎にベンチは当然送りのサインを出すのが、反応せず、結果遊ゴで二封。それでも、二走が三進し追加点のチャンス。1回に続きドタバタの攻撃だ。一・三塁で次打者の投ゴで三走がミス狙いで飛び出し三本間に挟まれ憤死するが一走が三塁到達に十分な時間を稼いだと思いきや、何故か三塁付近まで来ていた走者が二塁に引き返してしまい三走の苦勞が水の泡。さらに緩慢な走塁で二塁でこられた憤死。これでこちらにいたはずの勝利の女神は完全に怒ってしまった。その裏5失点、次の回なんと10失点の掛川猛打爆発で3連勝の夢ははかなく散った。(浜翔：石川伸)

第3試合【3回戦】

6/1(日) 11:45 戸倉体育館グランドA

横濱の猛打爆発！13安打14点
3試合投げぬいた川崎はHRも出て
生涯初勝利を飾る

	(石川)	(2)	(1)	(0)	(0)	(5)			計	安打
白山還暦野球C	0	0	0	0	4			4	(8)	
横濱フォアテース	0	13	1	0	X			14	(13)	
	(0)	(11)	(1)	(1)						

勝 川崎

敗 北田

V打点: 窪田

本塁打: 川崎(横濱)
三塁打: 窪田(横濱)
二塁打: 安藤・四方田(横濱)・江口(白山)

横濱	打数	安打	打点	盗塁
守 氏名				
6 伊藤	2	1	1	
D 窪田	3	1	3	
4 大西	3	2	1	
1 川崎	3	1	2	
3 安藤	3	2		
7 佐藤	3			
9 四方田	3	2	1	
2 太刀岡	2	1		
8 弘中	1			
5 岡崎	1	1		
D 福島	2			
D 久保田	1	1	1	
D 丸山	2	1	2	
チーム計	29	13	11	0

白山	打数	安打	打点	盗塁
守 氏名				
6 西田	2	1		
7 松本	2			
4 中出	2	2		
1 笹田	2	1	2	
3 江口	2	1		
8 井山	2	2	1	1
5 藤本	2			
2 西本	2			
9 寺田	2	1	1	
D 橋	2			
D 橋本	1			
D 谷内	1			
D 北田	1			
チーム計	23	8	4	1

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点
投手 氏名					
川崎	3	3	1		4
佐藤	2	5	1	4	
チーム計	5	8	0	2	4

投手	回数	安打	四球	三振	失点
投手 氏名					
北田	11/3	5	1		9
谷内	22/3	8	1		5
チーム計	4	13	2	0	14

気を取り直してブロック優勝の望みをかけて臨んだ第3試合の相手は白山還暦野球クラブだ。3戦連続先発の川崎は還暦に順応し、制球が定まってきた。安打は打たれるが要所を締め見事3回を完封する。打線は2回、兼任監督で忙しい安藤が二塁打で出塁すると、佐藤の左飛が相手失策を誘って3戦連続で先手を取る。2失策で2点、更に窪田が走者一掃の右中間三塁打を放ち久保田・丸山が懸命にホームイン。大西気楽に適時打で繋ぎ、締めは川崎の左中間特大柵越えHR！出てもおかしくないという本人通りの有言実行だ。さらにデザートを付け11安打、13点なり。スコア記入も嬉しい悲鳴。まさに女神降臨、戻ってきてくれました。先程とは間逆の展開に相手の心中察するも、ここは勝負の世界、情けは無用だ。終回完封リレーを期待したが、佐藤がご愛嬌で多少打たれるが大勢に影響なし。真の勝利をもぎ取った。結果2勝1敗でV権利を保有したまま、最終戦の結果に優勝の行方を他力本願しつつ長野をあとにする。(浜翔：石川伸)



<敢闘賞>
3試合を投げぬき、
打ってはHR
お疲れ様でした

川崎



お疲れ〜 かんぱ〜！！